

# シャリア関連アセアン株式オープンの運用状況

シャリア関連アセアン株式オープン(愛称 イスカンダルの光)  
追加型投信／海外／株式

2017年4月20日

シャリア関連アセアン株式オープン(愛称 イスカンダルの光)では、東南アジア諸国連合(アセアン)加盟国の株式等のなかから、ダウ・ジョーンズ・イスラム市場ASEANインデックス構成銘柄のうち、成長性、割安性等に着目して、銘柄を選別します。

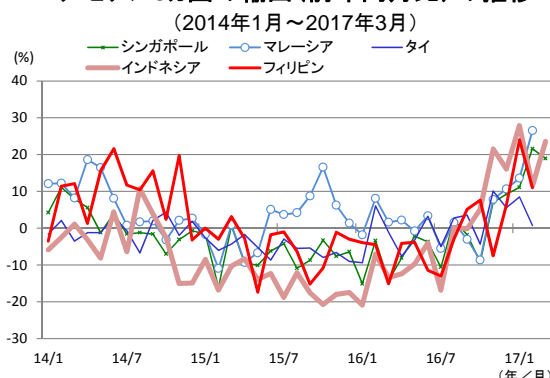
今回は、アセアン主要国のマクロ経済や株式市場の動向、足元の運用状況についてレポートします。

## 【アセアンにおいて輸出の回復基調が続く】

アセアン主要国の輸出は、2015年から2016年後半にかけて伸び悩む状態が続きましたが、2016年12月より主要5カ国の輸出が全て前年同月比でプラスに転じました。2017年に入ってから、シンガポール、マレーシア、インドネシアなどにおいて前年同月比で10%を超える伸びが続いています。

輸出の回復基調が鮮明となる中、今後は各国の景気回復ペースが注目されます。緩和的な金融政策が継続していることに加え、各種インフラプロジェクトの進展も各国の景気を下支えすると考えます。

## アセアン5カ国の輸出(前年同月比)の推移



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成  
※マレーシア、タイ、フィリピンは2017年2月までの実績を掲載

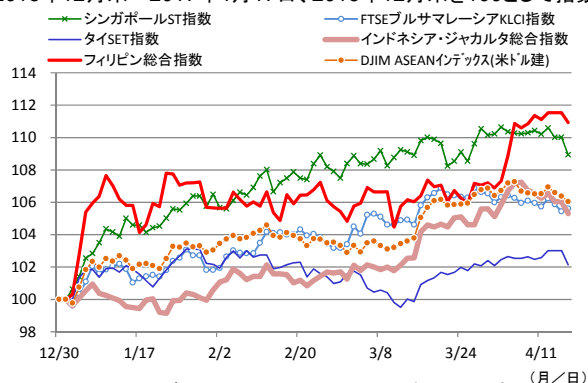
## 【株式市場は、シンガポールやフィリピンを中心に年初来で軒並み上昇】

アセアン株式市場では、年初に発表された2016年10-12月期実質GDP成長率が市場予想を上回ったことが大きく好感されたシンガポールや、昨年末から今年年初にかけて株価バリュエーションの割安感が着目されたフィリピンを中心に、軒並み上昇する展開になりました。アセアンの各国通貨が米ドルに対して安定的に推移したことも、株式市場を下支えする要因になりました。

今後の見通しについては、フランス大統領選や北朝鮮情勢、英国の解散総選挙など、足元において外部環境を巡る複数の不透明要因が残ることから、しばらくの間不安定な市場環境が続くと予想されます。しかし、国際通貨基金(IMF)が4月18日に中国やアセアン(インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナムの5カ国)の2017年経済成長見通しをそれぞれ上方修正したことから、域内のマクロ環境は良好な状態にあると考えられます。外部環境への警戒感が後退するとともに、アセアン主要国の景気や企業業績の回復ペースに投資家の注目が向かうと考えます。

## アセアン5カ国の株価指数の推移

(2016年12月末～2017年4月17日、2016年12月末を100として指数化)



(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

## アセアン5カ国の主要株価指数および為替の騰落率

国・地域	株価指数	株価指数騰落率 (現地通貨ベース)	為替騰落率 (対円)
シンガポール	シンガポールST指数	8.6%	-3.1%
マレーシア	FTSEブルサマレーシアKLCI指数	5.9%	-4.7%
タイ	SET指数	2.5%	-2.5%
インドネシア	ジャカルタ総合指数	5.2%	-4.6%
フィリピン	フィリピン総合指数	10.9%	-6.0%
アセアン	ダウ・ジョーンズ・イスラム市場ASEANインデックス(米ドル建)	6.3%	-6.3%

(出所) 投資信託協会、Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成  
※株価指数は2016年12月29日と2017年4月17日の各市場終値の比較。為替は2016年12月30日と2017年4月18日の投資信託協会評価レートの比較。なお、休場の場合は前営業日を使用。主要株価指数は、あくまでも参考指数です。当ファンドは指数には投資していません。

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「シャリア関連アセアン株式オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**シャリア関連アセアン株式オープン(愛称 イスカンダルの光)  
追加型投信／海外／株式**
**■ 足元の運用経過について**

2017年3月の運用に関しては、フィリップ・キャピタル・マネジメント(マレーシア) Sdn. Bhd.からの投資助言に基づいて、マレーシアの食品株、インドネシアの消費関連株、タイのITサービス株や公益株を買い付けた一方、足元において株価バリュエーション面の割高感が高いと判断したマレーシアの電子部品株、インドネシアやタイの不動産関連株などを売却しました。

4月に入ってから、マレーシアの不動産株、タイやフィリピンの通信株を新規に買い付ける一方、足元において株価が堅調に推移しているマレーシアやタイのITサービス株について、利益確定売りを行いウェイトを引き下げました。

**■ 当面の運用方針について**

今後の運用につきましては、フィリップ・キャピタル・マネジメント(マレーシア) Sdn. Bhd.のモデルポートフォリオに基づいて、政策の方向性や個別銘柄の株価動向に留意しながら、販売単価やマージンの上昇など業績の改善が期待される銘柄や、予想配当利回りが相対的に高い銘柄を中心にウェイト付けを行う方針です。

**運用状況 (作成基準日 2017年4月18日)**


※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。  
 ※株式組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。  
 ※国別、業種別の各組入比率は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。  
 ※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

ファンドデータ(4月18日現在)	
基準価額(円)	7,210
残存元本(百万口)	2,310
純資産(百万円)	1,666
株式組入比率(%)	88.0
現金比率(%)	12.0
組入銘柄数	72

国別組入比率	
タイ	26.4%
インドネシア	23.2%
マレーシア	19.3%
フィリピン	10.8%
シンガポール	8.4%
現金比率	12.0%

業種別組入比率(上位10業種)	
ソフトウェア・サービス	17.7%
電気通信サービス	16.2%
素材	10.5%
運輸	8.0%
食品・飲料・タバコ	7.4%
小売	6.9%
公益事業	6.1%
食品・生活必需品小売り	4.8%
資本財	4.0%
不動産	2.8%

以上  
(作成：グローバル・エクイティ運用部)

**＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞**

■本資料は、「シャリア関連アセアン株式オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



シャリア関連アセアン株式オープン(愛称 イスカンダルの光)  
追加型投信／海外／株式

シャリア関連アセアン株式オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、アセアン加盟国の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「信用リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時 換金手数料：ありません。  
信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額×0.30%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.9008%（税抜1.76%）
- その他費用・手数料 監査費用：純資産総額×年率0.01296%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**販売会社**

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡地証券株式会社	東海財務局長(金商)第5号	○			
共和証券株式会社	関東財務局長(金商)第64号	○	○		
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
フィリップ証券株式会社	関東財務局長(金商)第127号	○		○	
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

**<本資料に関するお問合わせ先>**
**カスタマーサービス部 フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)**